

# 市政を問う

一般質問は23人の議員により4日間にわたって行われました。ミスさんさ踊りの募集要項やまちなか・おでかけパス、自治体経営改善の取り組みなど広範囲な市政課題について質問がありました。  
※各議員の所属会派等は各議員の一般質問日時点。



後藤 百合子  
(無所属)

このほかの質問  
・盛岡藩覚書休刊  
・ヘルステック関連企業集積の成果  
・再犯防止の神髄を伝える啓発活動

## 盛岡南地区物流拠点整備事業

問 事業者との協定の目途が立たず、事業が停滞しているが、区画を分割し、実行可能な区域から先行して実施することなどを検討しては。

答 開発事業候補者の企画提案は、全体を4期に分けて整備する計画であり、進捗に合わせて企業立地の動向などを確認し、整備を進める。

## 将来を見据えた水道事業

問 人口減少や資材高騰など、水道事業を取り巻く環境は厳しいが、100年先も市民に安全でおいしい水を供給していくための対策は。

答 「水道ビジョン2045」に基づき、料金収入減少などの諸課題の解決に努め、信頼される水道事業の実現に向けて取り組む。



高橋 和夫  
(日本共産党市議員)

このほかの質問  
・玉山から北松園中学校に通う予定の生徒への玉山学校給食センターからの給食配送

## タクシー事業者の最低保有車両数

問 運転手確保が難しい中で、5両以上を保有しなければならない基準は、タクシー事業者の経営を圧迫しているのでは。

答 旧玉山村では盛岡市地域公共交通会議での協議により2両以上に緩和できる要件があり、基準の緩和で事業が継続しやすくなると考える。

## 文化財などの保存と修復の状況

問 石川啄木記念館にある旧齊藤家や中央公民館の屋根が傷んでいるが、市内の文化財などの保存・修復の状況は。

答 小規模な破損は順次修繕を進めているが、大規模なものは国の補助金や寄付金を活用するなど財源確保に努めながら取り組んでいく。



細川 由香里  
(創盛会)

このほかの質問  
・公共施設での生理用品の無償提供  
・産後鬱への支援  
・産後ケア利用における助成

## ミスさんさ踊り

問 実行委員会で見直しの検討をするとしていたミスさんさ踊りの募集要項などが、6年度から変更がなかったが、その理由と検討内容は。

答 実行委員会内の企画業務宣伝部会において検討したが、現状維持を希望する意見が多数であったため、これまでと同様の内容となった。

## 尿ナトリウム・カリウム比

問 国民健康保険特定健康診査における尿ナトリウム・カリウム比を活用した市民への健康増進の取り組みの状況は。

答 特定健康診査の結果から、医療機関への受診勧奨などは行っているが、尿ナトリウム・カリウム比を活用した取り組みは行っていない。



旧齊藤家(盛岡市教育委員会写真提供)

文化財などの適切な修繕と保存を



ビクトリア市で行われた調印式  
(左はビクトリア市長)

ビクトリア市との交流継続を



神部 伸也  
(日本共産党市議員)

このほかの質問  
・就学援助費の支給の改善  
・国の米農政に対する所見  
・内水氾濫対策

## 消費税の今後の在り方

問 消費税減税が一番の物価高騰支援になると考えるが、消費税の今後の在り方への所見は。

答 地方自治体の安定的な財政運営に欠かせないものであり、社会保障制度の安定性と持続可能性を確保し、将来世代への負担を避ける上で、今後も維持されるべきだと認識している。

## 公共施設の照明設備の不具合

問 公民館などの公共施設において、照明設備の不具合に関する声が寄せられているが、利用者に不便をかけている状況に対する所見は。

答 照明設備は利用者の安全で快適な活動環境を確保するために必要不可欠であり、可能な限り早期に対応すべきものと認識している。



野田 尚紀  
(盛友会)

このほかの質問  
・今後の姉妹都市友好都市との交流  
・河南地区の活性化と分譲マンション建設の進捗

## ビクトリア市訪問の成果と課題

問 姉妹都市提携40周年を契機としたビクトリア市訪問の成果と今後の課題は。

答 訪問で交流を深め、交流継続を誓う盟約書を交わした。姉妹都市提携40周年記念事業による友好の機運醸成や、中高生の相互派遣など、市民への浸透と若い世代への広がりを図る。

## 中ノ橋通の再開発事業の補助金

問 中ノ橋通一丁目地区第一種市街地再開発事業東街区の整備における補助金充当の対象と、事業の進捗による補助金額の変動の可能性は。

答 調査設計計画や土地整備、住民が共同で使用する施設の整備が対象で、整備の規模などに変更が生じる場合は補助金の額も変更される。



小笠原 秀夫  
(盛友会)

このほかの質問  
・デジタルツールによる彫刻の魅力発信  
・市民の健康づくり施策

## スポーツ施設を通じた地域活性化

問 開かれたスポーツ空間の整備による市民交流や地域活性化を促す取り組みが必要では。

答 盛岡南公園のバスケットゴールなど、誰でも利用できる開かれた空間整備に努めており、利活用の周知や既存施設での市民交流の機会拡充などにより地域活性化につなげていく。

## 彫刻を題材とした学校教育

問 市内にある彫刻を題材とした地域学習・探求活動を学校教育に取り入れ、子どもたちが地元文化に誇りを持つ機会を創出しては。

答 小中学校において彫刻に親しむ活動に取り組んでいる。今後も、地域ゆかりの芸術家に触れる機会や、郷土愛を育む教育を推進する。



鈴木 真吾  
(盛友会)

このほかの質問  
・災害時の一時避難場所として民泊の活用  
・支援型マネジメント研修の状況

## D Xの推進体制

問 D Xの推進は運用と改善を続けることが必要だが、部署横断の組織体制や研修の状況は。

答 庁内横断のデジタル推進事務局の設置や、各部署にD X推進リーダーを配置するなど、全庁を挙げ取り組んでいるほか、職員向けの専門研修を実施するなど、D Xを推進している。

## 習い事助成制度の導入

問 習い事は子どもの成長に重要で、部活動の地域移行の受け皿ともなるが、所得制限付きの中学生向け習い事助成制度の導入への所見は。

答 恒久的な財源確保が課題だが、子どもの選択する権利の保障などの効果が期待できるため、他都市の事例を参考に支援策を検討する。



縄手 豊子  
(れいわ新選組)

このほかの質問

- ・米の価格と不足
- ・自治体経営改善による財源確保策
- ・市長の考える政策の優先順位

ごみ処理施設整備と温室効果ガス

問 大規模ごみ処理施設の整備は、もりおかゼロカーボン2050の計画に逆行するのでは。

答 各市町で焼却処理量などの削減に取り組むとともに、施設整備に当たり、事業者選定時にCO<sub>2</sub>排出量の削減に関する提案を求めるなど、温室効果ガスの排出量削減に取り組む。

教員の時間外勤務

問 業務量の増大から教員の長時間勤務が常態化し病休者が増加しているが、教員の給与や勤務条件を定める法律の問題点の認識は。

答 法律の規定が勤務実態とかけ離れ時間外勤務を招いていると認識しており、抜本的な処遇改善に向けた法改正を国に要望している。



池野 直友  
(公明党)

このほかの質問

- ・地域おこし協力隊の現状
- ・公共施設設置の車いすの状態とバリアフリーの状況

道の駅もりおか渋民たみっと

問 道の駅もりおか渋民たみっとが開業したが、利用者からの要望や改善すべき点は。

答 施設面と運営面で寄せられ、車両誘導などはすでに対応し、段差解消などは検討中である。営業時間延長などの改善に時間を要するものは、各テナントの事情を踏まえ検討していく。

ヘルプマークの配布方法

問 現在ヘルプマークは本庁舎のみでの配布だが、支所や郵送での受け取りを検討しては。

答 都南総合支所および玉山総合事務所での配布体制を速やかに整える。郵送を希望する場合の手続きについても対応できるように検討を進めていく。



寺長根 浩  
(創盛会)

このほかの質問

- ・小中学校における歴史教育
- ・新型コロナウイルスワクチン接種の健康被害認定数

市長立候補の際の心構え

問 市長就任から約2年が経つが、市長に立候補する際の心構えは。

答 「より優しく、より強い盛岡」を目指し、誰一人取り残すことなく、すべての人にやさしいまちをつくる思いで立候補した。今後も「市政は常に市民と共に」を信念に市政運営する。

新型コロナウイルス

問 3年もの間、さまざまな犠牲と悪影響を与えた新型コロナウイルスに対するワクチンが約1年で完成したことが、新型コロナウイルスが人工物であることを証明しているのでは。

答 技術の進歩によって、早期にワクチン開発ができたと認識している。



ヘルプマークの配布体制整備を



佐藤 尚弘  
(日本維新の会)

このほかの質問

- ・施設集約化判断基準と施設カルテ
- ・行政改革を促すための経済性監査
- ・使用済みおむつ

ミスさんさ踊り応募資格の見直し

問 ミスさんさ踊りの応募資格について、今後の見直しに向けた工程は。

答 7年度の盛岡さんさ踊り終了後に、関係者との情報交換などを行い、8年度の募集に向けて、実行委員会内の企画業務宣伝部会を中心に議論を重ねていく。

病児保育事業

問 持ち物や申請手続きなどの統一を図るとともに市が一元的に予約システムを運用する必要があると考えるが、導入に向けた検討状況は。

答 施設の意見を踏まえ持ち物などの統一を検討し、予約システムの利用者と施設双方の利便性向上に向け、他都市の事例を調査研究する。



三田村 亜美子  
(日本共産党市議団)

このほかの質問

- ・市営住宅の廃止の影響
- ・宿泊税
- ・公共施設への生理用品の設置

空き家の利活用促進

問 空き家などの購入経費や、賃借する場合の改修、片付け経費の補助制度を導入しては。

答 空き家の購入者に購入費や改修費、家財処分費を補助しているが、賃借については退去時に原状回復が必要で補助金の適正な交付に課題があり、他自治体の取り組みを研究していく。

まちなか・おでかけパス

問 予定販売枚数が完売しパスを購入できない市民は、負担増加を避けて外出を控える懸念がある。補正予算で対応し追加発行しては。

答 予定枚数で販売終了するが、高齢者の生活支援も目的とする重要な事業のため、バス事業者と協議を継続し、サービスの提供に努める。



豊村 徹也  
(創盛会)

このほかの質問

- ・警察と連携した防犯システム構築
- ・土砂災害警戒区域などの基準
- ・水稻作付面積

介護施設の経営問題

問 養護老人ホームと特別養護老人ホームの経営問題に対する所見は。

答 人材不足や入所者減少により経営が厳しいほか、申し込み後、入居可能でも入居に至らないことがあるなどと聞いている。経営状況を聴き取りし、課題解決に向け、ともに検討する。

クマの出没情報の共有

問 県が運用している「いわてモバイルメール」を活用し、クマの出没情報を発信しては。

答 市公式SNSなどで情報発信しているが、多様な方法での情報発信は市民の安全につながることから、「いわてモバイルメール」の活用を含め、効果的な方法を検討していく。



庄子 春治  
(日本共産党市議団)

このほかの質問

- ・新施設整備や財政調整基金の積み戻しの根拠
- ・人権尊重と自衛隊への名簿提供

寡婦等医療費給付事業の終了

問 寡婦等医療費給付事業の終了の再検討を求める市民からの手紙に対する、市長の所感は。

答 同様の声をいただいております。心苦しく感じている。事業費全体の額が年々増加しており、医療助成制度の維持のため、他市の状況なども勘案し、早急に見直しが必要であると決断した。

路線バス運転士確保支援事業

問 これまでの市のバス運転士確保支援の実績と効果は。

答 路線バス事業者3社に、新規採用の運転士1人あたり40万円を5年度48人分、6年度21人分支援した。新規採用者数が4年度に比べ増えており、効果があると認識している。

# 市政を問う



太田 隆司  
(公明党)

このほかの質問  
・市屋外広告物条例と政治活動用ポスター

## リース期間終了後の公衆街路灯

問 町内会などへ無償譲渡される街路灯は、修繕費の負担が課題だが、町内会に代わり、市が負担するなど、負担軽減策の検討状況は。

答 再リースは現契約の倍以上の費用が見込まれ難しく、市が一律交換する方法は財源が課題であり、引き続き最適な方法を検討する。

## 道路標識などの点検・管理

問 県は民間業務委託で標識などを維持管理しているが、所感と今後の取り組みの課題は。

答 道路標識などをデータベース化して効率的な点検を実施しており、事故の未然防止に有効だと考える。市の管理物件は増加しており、職員の技術向上や人員、財源確保が課題である。



浅沼 克人  
(盛友会)

このほかの質問  
・女性の創業支援  
・PFS／SIBの可能性  
・顕彰する先人の追加の必要性

## 新産業等用地の高付加価値化

問 道明地区新産業等用地の高付加価値化として、何が効果的と考えているか。また、インキュベーション施設などの整備の検討状況は。

答 新産業等用地整備基本計画において、会議室などを備えた施設など、立地企業の利便性が高まる施設の整備を検討することとしている。

## 農地付き空き家バンクの立ち上げ

問 農地付き空き家の情報収集と公開のため、農地付き空き家バンクの立ち上げが必要だと考えるが、想定される課題と手法は。

答 本市の農地付き空き家の現状把握が必要であり、その状況を踏まえ、他自治体の取り組みなどを情報収集し、効果的な手法を検討する。



鈴木 努  
(日本共産党市議員)

このほかの質問  
・アプリを用いた語音聴力チェック  
・訪問介護事業所調査を踏まえた市の対応

## ごみ屋敷条例の制定と効果

問 ごみ屋敷問題の解決に条例制定は必要だと考えるが、条例制定とその効果への所見は。

答 良好な住環境保持についての市民意識を醸成し、ごみ屋敷発生の抑止効果が期待されるが、ごみ屋敷の解消には根本的な解決につながる制度の検討が必要であり、調査研究を行う。

## 補聴器購入助成

問 聴こえの状態を改善するための取り組みをパッケージ化し、参加同意者に補聴器購入助成をすることで、助成費用を抑えられるのでは。

答 各種事業との調整や介護保険料への影響が懸念されるため、市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画策定時に実施を検討する。



中村 雅幸  
(市政クラブ)

このほかの質問  
・患者輸送事業の検討状況  
・障害者控除申請対象者に対する具体的な支援方法

## 修学旅行引率の勤務時間振り替え

問 引率業務で時間外勤務が発生することは仕方ないが、7年4月に修学旅行を実施した中学校での時間外勤務の振り替えの実施状況は。

答 県が定める特別の週休日及び勤務時間の割り振りを行う際の基準に基づき、修学旅行を実施した16校のうち9校で実施した。

## 適切な勤務時間の割り振り

問 4月の修学旅行の勤務時間の振り替えは、行事が多くて難しいと考えるが、適切な勤務時間の割り振りを行うことの教育委員会の責務は。

答 教職員の健康確保の責任を有しており、適切な勤務時間の割り振りを進め、修学旅行の実施時期を見直すなどの検討を働きかける。



中村 一  
(創盛会)

このほかの質問  
・盛岡城跡公園の菜園側トイレ  
・仙北地下道のバリアフリー化  
・禁煙の取り組み

## 不法投棄・ポイ捨て禁止条例

問 不法投棄・ポイ捨て禁止条例を制定し、ポイ捨てなどに厳しい姿勢で取り組むべきでは。

答 不法投棄・ポイ捨ては軽犯罪法などで禁止されており、未然防止策として啓発活動を行い、一定の効果が出ている。今後も、条例制定都市を参考に、有効な対策を調査研究する。

## 防犯カメラの普及拡大

問 防犯カメラにより犯人逮捕につながった例もあり、地域防犯カメラの普及拡大を急ぐべきだが、所見は。

答 犯罪の抑止や地域の見守りに有効だと認識している。事業の優先順位を勘案しながら、市所管施設や地域への設置に取り組む。



鈴木 聖子  
(公明党)

このほかの質問  
・虐待を受けている児童を支援する地域ネットワーク  
・アドボケイト  
・子どもの権利

## スクールソーシャルワーカー

問 子どもたちに多様な支援を行うスクールソーシャルワーカーの7年度の配置体制は。

答 7年度は3名の配置となっており、限られた人数だが、それぞれのケースを今まで以上にきめ細かに把握し、必要に応じた支援が行えるよう調整することが重要だと考えている。

## 子どもの権利条例

問 子ども一人一人が自分は守られていると思える盛岡市を目指すために、子ども条例や権利条例を制定することが有効な手段の一つでは。

答 現在は方針を決めていないが、条例の制定を含めて、必要な取り組みについて、他都市の事例なども踏まえて研究をしていく。



伊勢 志穂  
(市政クラブ)

このほかの質問  
・生活が苦しい市民への配慮  
・若者が希望する就職先の調査分析  
・図書館の今後

## 市の景気浮揚

問 自治体経営改善が景気後退に影響を与えるであろうことが容易に想像できるが、市の景気浮揚のために行うべきことは。

答 新市総合計画の未来創造プロジェクトにおいて、雇用の場の創出、移住定住、交流人口の増加などに注力する社会減対策に取り組む。

## アンコンシャス・バイアスの解消

問 アンコンシャス・バイアスの解消のため、市商工労働部から企業へ指導すべきでは。

答 国と県、市で商工関係団体7者に働きたい女性の希望に応じた働き方が実現できるよう、取り組みの推進を要請した。また、県や関係機関との連携も含め、必要な取り組みを検討する。

## ◆用語解説

### アンコンシャス・バイアス

日本語で「無意識の思い込み」などと表現され、誰にでもありうる。これまでの経験や見聞きしてきたことなどから生み出されるため、完全に払拭することが難しいが、気付かないまましていると自分や周りの人の可能性を狭めてしまうことや、誰かを傷つけてしまう可能性がある。

(政府広報オンラインより作成)



※一般質問の録画映像を配信しています。  
スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



## 会派の意見

本会議において、各会派が市長提出議案などに対して意見を述べる討論が行われました。各会派の討論の要旨をお知らせします。  
★すべての議案番号と議案名は、8ページに一覧表として掲載しています。

### 盛 友 会

全議案に賛成

議案第59号は、今回の条例改正で加熱式たばこの税負担の公平性が確保される点を高く評価する。喫煙者と非喫煙者が共存できる社会を目指すため、国の提言に基づき、たばこ税の増収分を財源として屋外分煙施設などの整備を推進されたい。議案第72号は、公共交通利用促進対策事業について、路線バス運転士の人手不足は深刻であり、事業自体に異を唱えるものではないが、市内に営業所を有する路線バス事業者とは、十分に話し合いの機会を持ち、各社の運転士人数の現状を把握し、根本的な人手不足の解消に努められたい。

### 創 盛 会

全議案に賛成

議案第57号は、7年度一般会計補正予算について、新型コロナウイルス感染症の予防接種事業として、約2億300万円の増額補正が行われたが、国からの助成措置がなくなったことにより、全額が一般財源である。新型コロナウイルス感染症のワクチンの健康被害が一部で問題視されており、事業の実施に当たっては、その安全性を十分に確認したうえで、インフォームド・コンセントを徹底されたい。7年度から5年間を期間として取り組む自治体経営改善方針と実施計画について、本格的な人口減少社会に対応した行政運営体制を確立されたい。

### 日本共産党市議団

一部議案に反対

議案第57号は、高齢者などを対象とした新型コロナウイルス感染症の予防接種事業について、高齢者や基礎疾患のある人の重症化を予防する重要な手段であり、負担軽減制度の創出を国に要望されたい。議案第71号は、国民健康保険税の改正について、高額所得者の負担を増やし低所得者層の軽減を広げること自体には賛成するが、市民に強い重税感をもたらしている国民健康保険制度は国が責任を持って抜本的改革に取り組むべきものであり、最高限度額の引き上げと軽減措置の若干の拡大という小手先の対策で問題は改善しないため、反対する。

### 市 政 ク ラ ブ

全議案に賛成

議案第57号は、高齢者への年1回の新型コロナワクチン定期接種に係る経費や、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業などであり、いずれも必要な措置である。議案第58号は、町の区域の新設などによる住所変更を市が一括で変更する一方、免許証などは各自で行う必要があり、市民ならびに郵便、宅配業者などに対する説明を丁寧に行われたい。議案第59号は、学生のアルバイトなどの所得に対する控除額の変更による対応だが、個別の事情はあるものの、税法だけでなく社会保障にも関連することから、丁寧な制度の周知に努められたい。

### 公 明 党

全議案に賛成

議案第57号は、補助金を活用したWi-Fi整備や電子黒板の購入などが提案されており、ICTを活用した多様な学びができる施設整備は、教育DXを進める観点から重要であり、今後も学びの充実に努められたい。議案第72号は、国の交付金を活用し低所得のひとり親に対する電子商品券の支給などが提案されたが、依然として続く物価高騰に対する生活者支援として有効な取り組みであり、速やかな執行を求める。また、事業者支援として、運転士確保支援金の給付が盛り込まれたが、支援金支給のみならず、バス会社と緊密な連携を図り、打開策を講じられたい。

#### ユニバーサルシートの整備基準

問 民間へのユニバーサルシートの普及には、整備基準を設けて事業者を設置を促すことと、県への働きかけが必要だと考えるが、所見は。

答 整備基準を設けることは事業者には負担が生じることから現時点では難しく、普及推進のため県に働きかけていく。

#### 自治体経営改善に向けた環境整備

問 自治体経営改善を進めるには、主体である職員がやる気を持って盛岡の将来を考え、対話を大切にする取り組みが必要だが、所見は。

答 まちづくりの主体として能力が発揮できるような人材育成を行っており、能力を生かせるように自治体経営改善の取り組みを進める。



千葉 順子  
(盛友会)

#### このほかの質問

- ・町内会への委託
- ・中長期的な評価に基づく経営改善
- ・大規模事業に対する見直しの検討

#### ◆用語解説

##### ユニバーサルシート

乳幼児などのおむつ交換のためのベビーシートと異なり、大人も横になれる大型のシートで、車いすなどから乗り移りやすい高さに設置され、主に多目的トイレ内に設置されている。障がいのある人のおむつ交換などに利用されるほか、高齢者や子ども連れの人など、多くの人が多目的に利用できる。  
(群馬県ホームページより作成)



若者への選挙啓発活動の充実を

#### 投票率向上の取り組み

問 他の世代と比べて投票率が低い若者や子育て世代を対象とした投票率向上の取り組みは。

答 若年層向けに高校などで啓発授業を行ったほか、大学生との取り組みを検討している。子育て世代向けに選挙啓発塗り絵を配布したほか、大型商業施設に期日前投票所を設置する。

#### 重度障がい者などの就労支援

問 雇用施策と福祉施策の連携により重度障がい者の通勤や職場での就労を支援する重度障害者等就労支援特別事業を実施しては。

答 重度障がい者が能力を生かして就労するための環境の整備に必要な事業であり、当事者や関係機関と相談しながら検討を進める。



山崎 智樹  
(盛友会)

#### このほかの質問

- ・医療的ケア児の進学体制と保護者などへの支援
- ・教育と福祉の連携による支援

## 議員の表彰

全国市議会議長会では、長年にわたり議員の職にある者またはあった者に対して、市政の振興に寄与した功績を表彰しています。7年度は5月20日に開催された第101回定期総会において2人の議員が表彰を受けました。

議員在職 35年以上 表彰  
高橋 和夫

議員在職 30年以上 表彰  
村田 芳三